



2021 年度
第 42 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
大統領候補
体育政策、
大権のための
手段か目的か



2
「楽しむスポーツ」の
喜びと
空虚さの間



3
故崔スクヒョン選手
過酷行為事件加害者
厳罰
体育界暴力根絶できるか



4
プロスポーツ団体初の
ストライキ 101 日、
最後まで無対応で
一貫した協会長



5
男子スポーツの試合を
女性が中継するのを
見たことがありますか？



01 天地日報 2021.11.11 金ハクス：スポーツコラムニスト スポーツ学博士 大統領候補体育政策、大権のための手段か目的か



来年3月、第20代大統領選挙に出馬する与・野候補の輪郭が現れ、予備選レースが本格化している。去る10月10日与党の共に民主党候補で李ジェミョン前京畿道知事が確定したのに続き5日野党国民の力候補でユン・ソクヨル前検察総長が指名されて大統領選挙競争が熱く広がっているようだ。両候補は政治、経済、社会、文化などで多様な政策対決を行い、国民に共感を得るために各種公約を出している。

人権弁護士と検察総長出身でそれぞれ異なる履歴を生きてきた二人の候補であるだけに、各種政策公約も相反することが多い。公共と民間、公営と企業、平等と自由、福祉と成長などで価値衝突をして異なる歩みを見せているのだ。だが、体育政策だけでは大きな違いを感じにくい。体育政策だけを見れば、どの候補の公約なのかを判断するのが難しい。

城南市長と京畿道知事を経て、李ジェミョン候補は体育専門家を通じて体育政策諮問を受け、自分が志向する体育政策の一面を見せた。李ジェミョン候補側は「城南市民や京畿道民誰も差別なく体育活動を楽しむことができるようにする」というビジョンを掲げて共にする「帯同世界」を標榜している。彼は「体の健康は精神健康にも大きな影響を与える。体育活動は誰でも享受すべき基本的権利で、生活体育基盤を拡充し、プログラムを支援して道民なら誰でも公平に体育活動ができるようにする」と強調した。

ユン・ソクヨル候補はこれまで検事としてのみ活動し体育行政などの経験がないが、「サラエボ卓球英雄」イェリサ国民キャンプ健康スポーツ特別委員会委員長と体育ジャーナリストや体育学者などの諮問を通じて「公正な国、健康な大韓民国を作るスポーツの役割が非常に大きい」とし「コロナによって身体活動の重要性がこれまで以上に高まったこの時、スポーツ福祉を通じて国民誰もが運動とスポーツを享受できる基盤を設け、健康な生活を享受する大韓民国にならなければならない」と言った。

両候補が体育を国民のための普遍的福祉にすると公約として持ってきたのは望ましい。これまで歴代大統領選挙でもこのような公約は同様に出来た。2002年の大統領選挙で盧武鉉候補は、体育が国民統合に重要であるという高い目と識見を持って大統領に当選し、2012年の大統領選挙で朴槿恵候補は「体育が福祉だ」というキャッチフレーズを掲げて大統領に選ばれた。

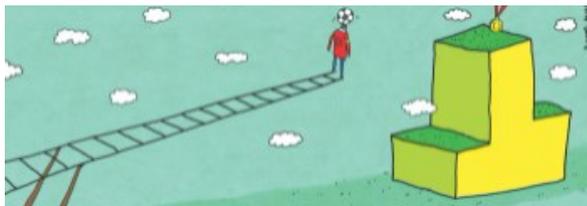
これまで体育を国民の健康な生活を保障する普遍的権利として明らかにしていたが、実質的に体育は歴代大統領選では目的ではなく手段にとどまったという指摘を避けられない。選挙で勝利した後には体育が他の政策に押されて外郭に押し寄せ、南北対話や国政壟断（訳注：利益・権利ひとりじめ）のための装飾物として利用したのだ。体育が国民の健康な生活を保障することとはかなり距離があった。

理念、地域、階層間の葛藤が激しい韓国社会が先進国に一段階跳躍するためには、健康な精神と肉体を整える体育活動を日常的な基本権として保障することが必要だ。体育は地球村の「溶鉱炉」という言葉がある。国家、民族、宗教、理念の違いを踏まえ、地球村を一つにすることは、体育、スポーツを通じてのみ可能だ。今回の大統領選挙で候補者たちは体育を大権を握るための手段や枝葉にしてはならない。国民を健康な生活に導くための目的として、真正な体育政策を広げることが望む。

出典：<http://www.newscj.com/news/articleView.html?idxno=920686>

02 ジョン・ユンスのオフサイド 2021. 11. 11

「楽しむスポーツ」の喜びと空虚さの間



長安（訳注：首都ソウルの別称）の話題になっている「ストリートウーマンファイター」（略称スウパ）を欠かさずに見た。強烈なキャラクターと高い水準を持つダンサーたちのエネルギーが画面外に飛び出した。分野とジャンルを問わず、競争を基本とするバラエティ番組でこのよう

にみんなが「楽しむ」姿は実に久しぶりだった。

<スウパ>の楽しみは長期間持続している「コロナブルー」の処方箋と同じだった。考えてみると、みんなの関心と声援を受けながら自分の技量を1000%広げたあと、競争していた相手と熱い抱擁をする場面というのは、私たちの生涯で1、2回あるかどうかの強烈な感情だ。それもほぼすべての肉親の関係が切れたコロナ状態ではなかなか感じにくかった姿だ。だからまず彼女達が楽しかったし、見る人も楽しかった。

「試合を楽しめ」

韓国スポーツの歴史でこの言葉の意味を触発させたきっかけは2002日韓ワールドカップだ。イタリアとの16強戦、ヒディンク監督はチャ・ドゥリを投入しながら「試合を楽しめ」と言った。実は当時1年間余り展開されたワールドカップ代表チームの訓練と試合全体を5冊分量で記録した最先端のコーチの備忘録によるとほぼすべての選手たちに、またほぼすべての試合でヒディンク監督は同じ注文をしたという。初戦ポーランド戦でもヒディンク監督は「行って、楽しんで」と話した。

その後、多くの監督がこの言葉を使って、いつのまにか広く広がるかと思っただが、一方論争にもなった。楽しめなんて一体話になるのか、勝負がかかっているのに話になるのか。こういう意見があるかと思えば、最初から「歯を見せてニヤニヤするなんて」とけなした意見もあった。

このような意見には歴史的な文脈がある。代表として選抜され、メダルを取ることは崇高なものであり、それに到達するには過酷な過程に耐えなければならなかった。「汗は裏切らない」や「苦盡甘來（訳注：くじかんらい、苦去りて楽来たる。苦しい時が去ってやっと楽しい日が訪れること）」のような言葉がスポーツの倫理規範だった。それは規律になり制御と訓練の動機になった。数十年続き、今も韓国スポーツ界を支配するこのような慣習のなかで「楽しむ」という言葉はリバウンドボールになった。

それでも「楽しめ」という宣言を再び強調したい。まず楽しむというのは一部の非難のようにニヤニヤしながら適当にやろうということではない。遊び場の子供たちもそうではなく、早起きサッカー会でもそうではない。勝敗がかかっている以上、ジャンケンでも魂を集中するのが一般的だ。

それなら「楽しむスポーツ」とは何か。この言葉は感覚的に理解するのではなく、社会的文脈で理解しなければならない。<スウパ>のダンサーたちが証明したように該当種目の規則と美学と目標を最高レベルに到達していく励精（訳注：物事に一生懸命尽くすこと）が基本だ。この励精には数多くの情報と知識と価値と美学が土台になる。そうしてこそ自分がすることを理解し没頭することになる。いわゆる「没入の楽しみ」はこのような前提から始まる。今、私たちのスポーツ界が学生選手に「没入の楽しみ」が可能な体系的な教育と安全な訓練と持続可能なプログラムを提供しているか。

同じ文脈で、それを行う環境は安全なのか、この点も重要である。人間は社会的脈絡の中で生きている。脈絡のない行為はない。「楽しむスポーツ」が「歯を見せながら適当に」ということを意味するわけでもないが、それでも高度な修練で高い成就を遂げるという式の漠然とした状態を意味するわけでもない。

「楽しむスポーツ」は発展主義システムの亀裂を起し、様々な社会的約束が遂げられず、そうして競争の梯子だけが目の前に置かれている今の社会的状況で理解しなければならない。その際の最初の考慮事項は人権保護と安全の保障である。学生選手の身体的安全と心理的安定、そして様々な恐怖と威圧的な状況の克服が必要だ。これに基づいて動機誘発がなされ、それを熱心に遂行したときに完全な生活を生きることができるといふ社会的約束につながるべきである。

ただ一つしかない梯子、特技者になってプロになって国家代表になるのがほぼ唯一無二の梯子、その競争で敗れたり落ち込んだら直ちに墜落してしまう激しい不安の状況は危険だ。単に大変でつらい程度ではなく、訓練が怖くて生活が不安な状態は解決しなければならない。これが不備な現在の状態では悪による度胸ある「勝負根性」も必要悪であり、高い水準に達して喜びを感じるという式の「楽しむスポーツ」も空虚な響きであるだけだ。

出典：<https://www.khan.co.kr/opinion/column/article/202111110300105>

03 永南日報 2021. 11. 13

故崔スクヒョン選手過酷行為事件加害者たちの厳罰 …体育界に蔓延した暴力根絶できるか



トライアスロンチーム内の過酷な行為に苦しんで死亡した故崔スクヒョン選手（当時 22 歳）事件の加害者として指摘された彼らに対する裁判所の判決がすべて確定した。彼らはほとんど「実刑」を宣告された。故崔選手が極端な選択をしてから 1 年 5 ヶ月ぶりだ。

◆慶州市役所トライアスロンチーム監督・主将・チームドクター共に実刑

去る 11 日最高裁判所は慶州市役所トライアスロンチーム金ギュボン(42)元監督と主将チャン・ユンジョン(女・32)元選手に対する上告をすべて棄却した。これにより金元監督は懲役 7 年、チャン元選手は懲役 4 年の実刑が確定した。

金元監督は 2014 年 9 月から 2017 年 5 月まで故崔選手をはじめ、選手たちを常習的に殴った疑い、選手たちからキャンプ訓練の航空料名目の金額を受けとって横取りした疑いなどで拘束起訴された。チャン元選手は 2015 年 8 月から 2019 年 7 月まで所属チームの他の選手に故崔選手を暴行するよう指示したり、直接叩いた疑いなどで裁判に引き渡された。二人は選手たちに大量のお菓子やパンを食べさせるなど義務のない仕事をさせ、故崔選手にパニック障害など傷害を負わせた疑いも受けた。

最高裁判所 2 部（主審大法官ミン・ユスク）は「原審判断で自由心証主義（証拠の証明力を裁判官の自由判断に任せる注意）の限界を外したり、法理を誤解した誤りがない」と明らかにした。

先に 1 審裁判部は「被告人がチームの中で優越的地位を利用して長期間暴言と暴行、過酷な行為をし、故崔選手は苦痛に苦しみ 22 歳の年齢で極端な選択をした。被告人が懺悔をして許しを求めるが、崔選手はその謝罪を受けられない状況」だとし「(金元監督は)選手が人格的な殲滅感を感じるほど非人格的な扱いをし、これにより被害選手達は自尊心を失って運動をするのにも懐疑感を感じた。(チャン元選手は)影響力を利用して常習暴言と暴行を犯し、被害者たちは運動を続けようと被告人から抜け出せないまま苦痛に苦しんだ」と量刑理由を説明した。控訴審裁判部も 1 審刑量を維持した。

故崔選手らを暴行した容疑で彼らと共に起訴された金ドファン選手は大邱高法 2 審で懲役 1 年に執行猶予 3 年を宣告された。彼が最高裁に上告せずに刑は確定した。

いわゆる「チームドクター」と呼ばれた運動処方師安ジュヒョン（45）氏は、大邱高法で宣告された懲役 7 年 6 月及び罰金 1 千万ウォンの刑が確定した。安氏は 2 審判決に不服として最高裁判所に上告状を提出したが去る 8 月上旬告を取下げた。

彼は選手たちを相手に手技治療、物理治療など無免許の医療行為をして、その代価で選手 21 人から 7 年間 356 回にわたって 2 億ウォン余りを引き出した容疑で起訴された。またマッサージや筋肉をほぐすなどの名目で女子選手たちを強制わいせつし、類似強姦した疑いも受け、崔選手が朝に桃を食べなかったと嘘をついた理由でチェ選手と他の選手たちを暴行した容疑などでも裁判に引き渡された。

◆虚偽計画書で補助金を横領した金ギュボン、国会証言不出席安ジュヒョン「執行猶予」

故崔選手事件から派生した裁判も仕上げ段階にある。

去る 12 日、大邱地法刑事 12 部(部長判事李ギュチョル)は詐欺容疑で起訴された金ギュボン前監督に懲役 8 ヶ月に執行猶予 2 年を宣告した。彼は 2017 年 1 月、実際にキャンプ訓練に参加する選手団の人員は 7 人であっても 9 人が参加したかのように経費を算出した虚偽訓練計画書を慶州市体育会に提出するなど、2019 年 1 月まで 9 回にわたって 2 億 8 千 5 0 0 万ウォン余りの地方補助金を横領した疑いで起訴された。

裁判部は共に起訴された元慶州市体育会事務局長、元慶州市公務員など関係者 5 人の「詐欺」容疑に対しては「被告人が公募して慶州市体育会を”欺瞞”して金を引き出したと見るのは難しい」と無罪を宣告した。ただし詐欺容疑とともに「公文書偽造」容疑も受けた慶州市所属体育チーム関係者の場合、「出入国事実証明書」5 枚を偽造して提出した事実が認められ、懲役 6 ヶ月に執行猶予 2 年を宣告された。

先立って「国会での証言・感情などに関する法律」違反罪でも起訴された安ジュヒョン氏は 6 月に大邱地法から懲役 4 ヶ月に執行猶予 1 年を宣告された。

安氏は昨年 7 月 22 日に開かれた国会文化体育観光委員会「トライアスロン選手過酷行為および体育分野人権侵害に対する聴聞会」に証人として出席するよう要求書を受けても出席しなかった容疑で裁判に引き渡された。また、国会文化体育観光委員長の「同行命令状」を受領しても聴聞会出席を拒否した容疑でも起訴された。安氏と検事が裁判所に控訴状を提出せずにこの判決は確定した。

◆22 歳で世を捨てた崔スクヒョン…選手人権保護強化措置できるか

故崔選手の切ない事情は去る 6 月、彼女が極端な選択をして明るみに出た。彼女は当時、母親に「お母さん愛してる。あの人たちの罪を明らかにして」という文字メッセージを残して世を去った。故人が亡くなる前の 4 ヶ月間、故人が慶州市役所、検察、警察、大韓体育会、大韓トライアスロン協会、国家人権委員会などに被害事実を知らせたにもかかわらず、どこからも助けられなかった事実が明らかになって残念さが加わった。

崔選手死亡後、運動界に蔓延した暴力を根絶しなければならないという指摘が相次ぎ、関係当局、国会などは対策を設けた。一部では「死後の処方箋」式の事態收拾だという批判も出た。

国会は「国民体育振興法一部改正法律案」、別名「崔スクヒョン法」を制定した。去る 2 月から施行に入った崔スクヒョン法は△体育人に人権侵害・不正認知時は迅速な届出義務を賦課、申告者・被害者保護措置強化△職権調査権限明示、調査妨害・拒否時懲戒要求などスポーツ倫理センター調査権強化△加害者に対

する制裁及び体育界復帰制限の強化△常時的人権侵害監視の拡大及び体育指導者等に対する人権教育の強化△体育界標準契約書の導入及び実業チームの勤労監督・運営管理の強化などの内容を骨子としている。去る3月、人権委は慶州市と慶州市体育会の管理監督が不十分だったという結論を下したりもした。金ギュボン前監督とチャン・ユンジョン前選手は大韓トライアスロン協会で「永久除名」処理された。政府は昨年12月、「学生選手人権保護強化案」を発表し、教育部は毎年「学生選手暴力被害全数調査」を実施することにした。

最近発表された今年の調査結果によると、全国の小・中・高学生選手351人(0.63%)が暴力被害を経験したと答えた。身体暴力は昨年(47.9%)に比べて今年(30.3%)減少したが、むしろ言語暴力の割合は昨年42.7%から今年51.7%に増加した。特に中・高校の学生選手の言語暴力増加及び身体暴力減少幅が小学校選手に比べて相対的に大きいことが分かった。

教育部は今回の結果をもとに加害者のうち学生選手に対しては学校暴力事案処理手続きに従い、学校運動部指導者に対しては児童虐待申告及び懲戒処理手続きに従って措置している。今月までに措置を完了する予定だ。この過程で暴力程度が深刻であるか、組織的隠蔽・縮小が疑われる事案は、教育部・教育庁合同特別調査を行う方針だ。

一方、去る1月大邱地法であった安ジュヒョン氏に対する1審宣告後、故崔選手の父親は「娘がこの世を捨て'スポーツ過酷行為'の深刻性を体で示したと思う。娘は最後の文字で「真実を明らかにしてほしい」という言葉を残したが、社会的関心のおかげで多くの真実が明らかになった。これからこのようなことが再発しないように持続的な関心をお願いします」と明らかにした。

出典：<https://www.yeongnam.com/web/view.php?key=20211113010001580>

04 スポーツ朝鮮 2021.11.11

プロスポーツ団体初のストライキ101日、最後まで無対応で一貫した協会長



KPGA（韓国プロゴルフ協会）支部は去る8月2日から国内プロスポーツ団体初のストライキに突入して101日間の闘争を続けてきた。KPGA支部は11月11日付でストライキを一時的に停止し、業務に復帰する。これはストライキの全面撤回ではなく、雇用労働部の勤労監督に積極的に協力するための暫定的なストライキ中断だ。

去る4月KPGAでは「職場内同性セクハラ」に対する事件がマスコミ報道されて大きな議論が起きた。経営陣はKPGA支部の組合員であり被害者の一人であるA職員に「マスコミ報道を阻止できなかった」という理由を挙げて待機発令2カ月に続いて停職3カ月の重懲戒を下した。

KPGA経営陣はこのように報復人事だけでなく脅迫及び責任転嫁、週末勤務時の代替休暇の削除、週52時間制度便法運営、協議中だった団体協約案を覆すなど、職員を圧迫した。

経営陣は結局報復人事措置したA職員と他のB職員に「脅迫および責任転嫁」を行ったと雇用労働部城南支庁で容疑が認められ改善措置を勧告された。しかし、これを全面否定し雇用労働部を相手に行政訴訟を行った。結局、KPGA内の不条理は国会環境労働委員会の国政監査でもまな板の上に上がり、経営陣の非常識な行為について叱責される結果をもたらした。

今回の暫定復帰は労使合意が行われた状況で行われる「ストライキ終了」ではないというのが KPGA 支部の説明。KPGA 支部は国政監査の後続措置として雇用労働部の勤労監督に積極的な協力のための臨時的復帰だけだと明らかにした。今後協会の正常化が迅速に履行されなければ、KPGA 支部は直ちに「二次全面ストライキ」に突入すると強調した。

KPGA 支部の要求は「KPGA を正常化させること」で非常に簡単だ。このためには不当懲戒撤回と週 52 時間制運営正常化、労使団体交渉の暫定合意事項の回復などが先決されなければならない。

KPGA の常識的な運営と発展のために組合員は大きな苦痛を経験したにもかかわらずストライキの道を選択した。KPGA 支部は各種事態解決のために協会長に直接解決を何度も促したが、協会長と経営陣は無対応で一貫した。

出典：

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202111120100096080006389&servicedate=20211111>

05 メディア今日 2021.11.08

男子スポーツの試合を女性が中継するのを見たことがありますか？



公営メディアとして KBS がスポーツ領域でも固着化したメディアの性差別的再現を解消するのに先頭に立たなければならないという提案が出た。韓国女性コミュニケーション学会は 6 日、秋の定期学術大会で KBS 特別セッション「ジェンダー観点から見た公営放送、公営放送の未来」をテーマに関連研究を共有した。

今年「2020 東京オリンピック」(コロナ 19 で 1 年延期) はスポーツ領域でも性平等価値が普遍化した時代の流れを見せた。国際オリンピック委員会 (IOC) の「性平等なオリンピック」旗印の下、史上初めて出場選手のうち女性が半分近く (48.5%) を占め、過去のオリンピックに比べて男女混成競技が 2 倍ほどに増えた。身体露出の多いユニフォームの代わりに様々な服装で出場した体操、バドミントン選手たちも目立った。

国内外メディアのオリンピックキーワードでも自然に「性平等」が挙げられた中、KBS「ドキュメンタリー-国家代表」の反響は相当だった。バレーボール金ヨンギョン、ゴルフ朴セリ、サッカージ・ソヨン、フェンシング南ヒョニ、ハンドボール金オンア、水泳ジョン・ユインなど女性国家代表 6 人が「女性スポーツ人」であることに向き合った限界と克服を込めたドキュメンタリーだ。国家代表は放映当日の地上波同時時間帯視聴率 1 位(ニールセン 코리아)を占め、視聴者掲示板などには「受信料の価値を証明した」という後記が続いた。

ジョン・サガン博士 (梨花女子大学コミュニケーション・メディア研究所) は「“女性はスポーツに関心がない” という偏見の中でオリンピックやドキュメンタリーサイトを見た女性たちの反応が熱かった。関心がないのではなく、満足できなかったという程度」だとし「性別化された状態で持続してきた」メディアのスポーツ再現を見てみた。「公共放送、スポーツ、ジェンダー：2030 女性視聴者の利用を中心に」というテーマの基礎研究を通じてだ。

ジョン博士は「(教育課程は) 男子生徒中心の体育授業が女性を消極的に参加させる様相として展開されている。スポーツ界でも男性に特性を付与する象徴的位階秩序を付与し、女性選手は展示の観点から認識されている」とし「メディアは性別化されたスポーツに対して性差別的認識を持つことに非常に大きな影響を及ぼす」と分析した。

実際ジョン博士がインタビューした 20～30 代女性はメディアを通じて女性スポーツ人に接した経験自体が不足していたとした。Aさんは「家族と UFC (訳注: 総合格闘技) を見ると一度も女性は出てこなかった。地上波チャンネルでサッカーの試合があっても当然男子の試合だったし、女子の試合を見るという“オプション”自体がなかった」とし「芸能など放送番組に女子フィギュアスケートやリズム体操選手などが容姿でスポットライトを受けて出てくる場面はたくさん見たがスポーツ専門家として接した記憶はあまりなかった」とした。

これはスポーツ分野に関心が多い人も同じだ。Bさんは「運動を頑張り、いつもチームスポーツを準備する友達がいた。公共放送やメディアで十分注目を集める程だったが“アマチュア版”は無視された」とし「最近トレンドになって女性スポーツを(放送局カメラが)撮ってくれるようだが、実際に女性がスポーツをどうやってもっと頑張る動機を得るかについては関心がないという感じを受けた」と話した。

ジョン博士はまた、「(個人) スポーツ YouTube チャンネルも女性に対する差別、資源の不在、メディアの否定的再現を扱うが、これを“女性に対する差別”と言うことは難しく、コメントが気になって慎重に話している。KBS は公営放送だからこういう問題を直接話すことができた」とし「これがまさに KBS ができる部分」だと提案した。

すぐにスポーツ分野での男女比から合わせなければならないという見方もある。オリンピックの時 KBS N スポーツの米国・ブラジル女子バレーボール決勝戦が呉ヒョジュアナウンサーと李スクジャ解説委員コンビで話題を集めた事例は、女性選手競技を女性たちが解説する事例自体が異例的な現実を反証した。

ジョン博士は「女子の試合を男性が中継するのは見ても、男子の試合を女性が中継するのは見られない」(Bさん) とか、「まず女性が出てスポーツをすることが増えなければならない。スペクトルが広がってこそ、より多くの話ができる」(Cさん) という意見などを伝えた。

一方、コンテンツを通じた性平等実現の基盤として KBS 内部の性平等も主な課題として取り上げられた。李ジョンイム慶熙大メディアコミュニケーション学科客員教授は「公営放送会社の組織文化とジェンダー問題」をテーマに「公営放送会社としての責務、受信料の価値に合致する役割のために多角的点検と役割が必要だ。そのうちの一つが「性平等文化」だと強調した。

KBS 性平等センターによると、昨年の KBS 役職員 4550 人のうち女性は 1105 人だ。職級別女性比率はチーム長級以上 15.3%、部署長級以上 8.7%水準だ。ソ・ヨンジュ KBS 性平等センター長は「KBS は意思決定過程での性別の多様性を高めるために 2020 年から女性職位者任用目標を推進して今年(女性職位者比率) 17%を上回ることを期待している」とし「しかし、12 期 KBS 理事会 11 人のうち女性は 1 人とどまったという限界もある」とした。

ソ・ヨンジュセンター長は「2020 年度視聴者相談室に受付された意見のうちジェンダー問題関連は 108 件で前年度比 3 倍以上だ。高まった視聴者の性認知感受性と人権意識を確認した」とし「構成員たちの性平等意識の向上のため、成人認知教育プログラム、重点対象別の個別化教育に集中している」と伝えた。

出典: <http://www.mediatoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=300515>

06 週間スポーツ関連ニュース

秋の野球と一緒に訪れたスポーツヒーローたちの本

http://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0002786832&CMPT_CD=P0010&utm_source=naver&utm_medium=newsearch&utm_campaign=naver_news

[スポーツ映像]フィギュアのユ・ヨン、グランプリ連続銅メダル…キム・ヨナ以来初めて

https://imnews.imbc.com/replay/2021/nwdesk/article/6314454_34936.html

韓国初のパークゴルフ生活スポーツ指導者 1級の金デヒョン氏「安全で正しい文化拡散のため努力…」

<https://news.imaeil.com/page/view/2021111410430544429>

兵務庁、ユーチューバーe-スポーツ選手も病的管理対象に含め検討

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20211110133900504?input=1195m>

規定・手続き無視して「尾切り」スパイラルハンドボール協会「インターネット騎士通海懲戒知らせるから慌てないで」 [エムスプ 이슈ー]

https://www.mbcsportsplus.com/news/?mode=view&cate=33&b_idx=99763567.000#07D0

スポーツヒーロー調査…金スニョン、故金ホンビン、朴ハンソ、故ユ・サン Chol 候補

https://newsis.com/view/?id=NISX20211110_0001646562&cID=10501&pID=10500

水上スポーツのメッカ丹陽でカヌー国家代表チーム強力な訓練突入

<https://www.news1.kr/articles/?4492477>

晋州体育インフラ拡充…「新安洞複合スポーツタウン」起工式

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20211112063300052?input=1195m>

釜山・蔚山・慶南メガスportsのつどい成功裏に終了…来年は慶南で開催

<http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0016466171&code=61161111&cp=nv>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>